

新年のご挨拶

平成24年の年頭にあたり、読者の皆様に謹んでご挨拶申し上げます。

旧年中は、ひとかたならぬご愛顧、ご支援を賜りまして厚く御礼申し上げます。

昨年は、東日本大震災、原子力発電所の事故など未曾有の年になりました。被害に遭われました皆様に心よりお見舞い申し上げますとともに、一日も早い復興をお祈り申し上げます。

本年が、平穏でよりよい年となりますよう心よりお祈り申し上げます。

弊社は、「ヘルスケアを通じて人々の健康を守ります」を経営理念に掲げ、臨床検査、食品・環境検査事業でグローバル化を目指し活動しています。昨年より生産性の向上および品質の向上を図るべく生産拠点の集約を検討しており、東金工場（千葉県東金市）を閉鎖し、野木事業所（栃木県野木町、研究所も併設）に本年1月竣工のオペレーションマネジメントセンター（事務棟、製造棟）等に集約することといたしました。これにより研究開発から製造まで効率的に運用でき、より良い製品をお届けできるものと思っております。

昨年は、弊社オリジナルの遺伝子増幅法（LAMP法）を用いた体外用診断薬として、“Loopamp®結核菌群検出試薬キット”の製造販売承認を取得し6月に新発売しました。同時に発売した“Loopamp®PURE DNA抽出キット”を組み合わせることで、未処理の喀痰検体から簡易・迅速に結核菌群を検出することが可能となりました。すでに発売の“Loopamp®マイコプラズマP検出試薬キット”と“Loopamp®レジオネラ検出試薬キットC”とともに昨年10月から保険適用となり、呼吸器感染症検査に貢献できるものと考えています。

微生物検査にお役立ていただけるよう「栄研マニュアル」を1962年から発行しておりますが、このたび第11版を発行いたしました。第10版発行（1996年）以来、新たに考案された培地や酵素基質を用いた培地、食品・環境・水質検査用培地および日本薬局方収載培地等を追加収載し内容を充実させました。本書が、わが国の公衆衛生の向上に寄与できるものと願っております。また、大腸がん検診の受診促進、早期発見を広く継続的に呼びかけ、受診の輪を広げていく「ブレイブサークル大腸がん撲滅キャンペーン」の活動も本年で5年となりました。昨年も、Tokyo健康ウォーク2011をはじめ全国でウォークや展示イベント等に協賛し、ご参加の皆様に大腸がん検診の定期的受診による早期発見・早期治療の大切さについてご理解を深めていただきました。

弊社は、今後ともお客様に信頼される製品・サービスを提供し人々の健康と医療の向上に貢献できる企業を目指してまいります。本年も変わらぬご支援、ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

例年、本誌のスタートを飾る「新春放談」では、「多剤耐性菌の現状と今後の対応」と題して、感染症対策の一線でご活躍の先生方にお話しをいただきました。薬剤耐性のメカニズムから臨床まで幅広くご討論いただいておりますのでお楽しみいただければ幸いです。

本年も読者の皆様一人一人にご満足いただける誌面作りに一層の努力を重ねてまいりますので何卒よろしく御祈り申し上げます。

平成24年元旦



栄研化学株式会社

代表執行役社長

寺本 哲也